

行程表

1日目：2月19日（月）前半

時間	時間	時間	行程	点呼	内容	備考
A班 7:10	B班 8:30	C班 9:10	集合		※トイレは集合時間までに済ませておくこと（トイレ休憩なし） 集合場所→神戸市中央体育館前 集合時の服装は私服 各担当の先生に報告の上、バス内点呼 ※乗車の号車に注意 点呼：担当の教員	A・B班は伊丹空港利用 C班は神戸空港利用
7:20	8:40	9:20	出発 点呼 バス乗車	◎		
3台	4台	1台	(諸注意)		・伊丹空港到着後、バス内で航空券を配布するので各自保管し無くさないようにする。 ・大きな荷物を持って、チェックインカウンターへ移動 ・搭乗前は買い物禁止 ・金属類・ペットボトル等の取り扱い ①刃物類（カッター、はさみ、つめ切り、コンパス）は× ②ベルトやポケット内の鍵などはバッグの中に入れて検査を受けること ③ペットボトルと筆箱はバッグから取り出し、検査を受けること	
8:10	9:30	9:50	空港到着 航空券配布 手荷物検査		航空券と荷物を持ち、クラス毎にチェックインカウンターに移動し、大きな荷物を預ける 荷物預け後、手荷物検査を受け、搭乗ゲートへ移動 乗車したバスごとにゲート前で待機（トイレ可）	
10:00	11:30	11:40	搭乗前点呼 空港発	◎	点呼：担当の教員 後方座席のクラスより搭乗 ANA773/JAL2005/ANA4819	※空港内での行動についての諸注意 ・時間の確認 ・班で行動すること
11:50	13:10	13:30	空港着	◎	到着後、ターンテーブルで預けた荷物の受け取り（破損チェック） 到着出口より再集合場所迄移動し、点呼後に解散 空港内で各班毎に昼食	
13:10	14:30	14:50	再集合・点呼	◎	点呼：担当の教員	
13:20	14:40	15:00	バス乗車・出発		バスガイドの誘導で乗車	
			トイレ休憩	◎	車内点呼：担当の教員 ※トイレ休憩のみ・買い物不可	
15:30	16:50	17:10	ホテル着 <ルスツリゾート>		☆車内のゴミの回収 忘れ物がないか点検☆ ★ホテル到着後の流れ★ ①バス内でしおりを見て部屋番号を確認する ②荷物を持って、アリーナへ移動し、整列。 ゼッケンを受け取る ③その場で靴・ウェア上下のサイズ合わせとスキー3点セット（ボードはヘルメットも）の確認をし、終了後、各ロッカーにスキー（スノボ）ブーツを置く。 ④ウェアとスキー3点セット（ボードはヘルメットも）と荷物を持って各部屋へ移動 ⑤室長は備品点検用紙を持ち帰り、記入後、夕食時に持参すること ※ウェア・3点セットに不備があれば、アリーナにて対応 ※移動は階段を使用 ※サイズ変更希望者は夕食前にすべてアリーナにて実施	※ホテルの諸注意 ・オートロック ・部屋内の加湿器を利用すること ・ベッドメイキングなし ・タオルとゴミは毎日交換有り 3点セット 帽子・ゴーグル・手袋 ※スノボ組はヘルメットもあり

※飛行機搭乗時の注意事項

- 機内に持ち込める手荷物は1つだけ。
- 機内に持ち込めない物。花火・爆発物・ガスボンベ・はさみ・バット・工具・ナイフ（カッターナイフ）
- 座席に着席時は、シートベルトを着用する。
- 搭乗口へのゲートを通過する際には、金具類（ベルト、腕時計など）は外しておく。

2日目：2月20日（火）

時間	行程	点呼	内容	備考
6:30	起床		部屋の清掃・整理整頓確認	
6:35	健康観察報告 （～6:50）	◎	室長は健康チェック 担当の先生に健康観察報告（アラスカにて）をして、体調不良者がいれば体調不良者と共に報告	*講習の諸注意 ・昼食は食券となるため、小銭もしくは1,000円程度を持参した方が良い ・朝のレッスン開始後、日中にホテルに戻ることはないため、必要なものは全て持っていくこと。
7:00	朝食1～3組		食事が終わり次第実習準備・荷物整理をする	
7:15	朝食4～7組			
7:30	朝食8～11組		宿舍待機の者も写真撮影のためスキーウェアに着替える ・ <u>室長は必ずツアードeskにルームキーを預けること</u> ・スノーボードブーツはブーツのまま館内移動が可能。 スキーは運動靴で移動すること	
8:00	実習準備		ロッカールームへ移動 *混み合うため時間差で移動する 8:30～ 1～3組 8:40～ 4～7組 8:50～ 8～11組	
8:50	写真撮影		ゲレンデにて <u>クラスごと</u> に撮影	
9:20	ゲレンデ集合 実習前点呼 諸連絡（全体） 開校式	◎	開校式の隊形に整列	
9:30	実習開始（2h）			
10:00	見学班		見学者は教員の所へ行き、アクティビティに参加	
11:30	実習終了		《班長》インストラクターから午後の開始時間と集合場所の指示を受け、実習点呼表と食券を受け取る	
	昼食・休憩		班毎に一緒に昼食→休憩	
13:00	実習開始（2h）	◎	班毎にインストラクターから指示された時間・場所に集合 点呼：班長→インストラクター	
15:00	実習終了			
	休憩		・買物（～21:30まで）、休憩 ・ <u>大浴場・プールは使用不可</u>	
18:00	夕食4～7組			
18:15	夕食8～11組			
18:30	夕食1～3組			
21:50	部屋移動禁止		生徒は部屋移動禁止。	
22:00	室長会議		《室長》アラスカに集合 ※しおりと筆記用具を持参しメモを取り班員に正確に内容を伝える	
22:40	就寝準備			
22:50	就寝前点呼	◎	点呼：担当の教員	
23:00	消灯			

3日目：2月21日（水）

時間	行程	点呼	内容	備考
7:00	起床		部屋の清掃・整理整頓	
7:15	健康観察報告	◎	室長は健康チェック 担当の先生に健康観察報告（アラスカにて）をして、体調不良者がいれば体調不良者と共に報告	*講習の諸注意 ・昼食は食券となるため、小銭もしくは1,000円程度を持参した方が良い ・朝のレッスン開始後、日中にホテルに戻ることはないため、必要なものは全て持っていくこと。
7:30	朝食 8～11組		食事が終わり次第実習準備・荷物整理をする	
7:45	朝食 1～3組			
8:00	朝食 4～7組			
	実習準備		（写真撮影有りの場合） 宿舎待機の者も写真撮影のためスキーウェアに着替える ・ツアーデスクに鍵を預けること	
(9:30)	※写真撮影 （前日撮影できなかった場合）		（写真撮影有りの場合） ロッカールームへ移動 9:10～ 8～11組 9:20～ 1～3組 9:30～ 4～7組 （写真撮影無しの場合） ロッカールームへ移動 9:20～ 8～11組 9:30～ 1～3組 9:40～ 4～7組	
9:50	グリーンデ集合 実習前点呼 諸連絡（全体）	◎	開校式の隊形に整列 点呼：班長→インストラクター	
10:00	実習開始（2h）			
10:30	見学班		見学者は先生の所へ	
12:00	実習終了 昼食・休憩		《班長》インストラクターから午後の開始時間と集合場所の指示を受け、食券を受け取り、昼食をとる 班毎に一緒に昼食→休憩	
13:00	実習開始（2h）		班毎にインストラクターから指示された時間・場所に集合 点呼：班長→インストラクター	
15:00	実習終了			
15:15	閉校式 入浴・休憩	◎	閉校式と同じ隊形に集合 ・買物（～21:30まで）、休憩 ・ <u>大浴場・プールは使用不可</u>	
18:00	夕食 1～3組			
18:15	夕食 4～7組			
18:30	夕食 8～11組			
21:50	部屋移動禁止		生徒は部屋移動禁止	
22:00	室長会議		《室長》アラスカに集合 ※しおりと筆記用具を持参しメモを取り班員に正確に内容を伝える	
22:40	就寝準備			
22:50	就寝前点呼		点呼：担当の教員	
23:00	消灯・就寝	◎		

〈ルスツ最終日の注意事項〉

- ◎室長は、翌朝必ずルームキーをツアーデスクに提出する。
- ◎部屋の中に忘れ物がないかを確認する。
- ◎荷物を整理し、不必要なものはスーツケースに入れておく。
- ◎ホテル宿泊期間に無くした物がある場合はツアーデスクに確認しに行く。

4日目：2月22日（木）

時間	行程	点呼	内容	備考
6:30	起床		全員：部屋の清掃・整理整頓 室長：部屋の清掃・整理整頓確認	
6:35	健康観察報告 （～6:50）	◎	①体調不良者がいれば報告に同伴 ②担当の先生に健康観察報告（アラスカにて）	
7:00	夕食4～7組		3F「アラスカ」で朝食	
7:15	夕食8～11組			
7:30	夕食1～3組			
8:30	部屋の点検			
	荷物移動開始		完了した部屋から指定の荷物置場へ移動（P17確認すること） 男子：アリーナ 女子：2F宴会場 *貴重品を部屋単位でツアーデスクにて回収・返却は昼食時	*この時点で部屋を チェックアウト
		◎	室長はツアーデスクにルームキーを返却	
9:00	ゲレンデ集合 実習前点呼		開校式の隊列に整列 フリー滑走	*フリー滑走時の諸注意 ・スピードを出しすぎない ・周りの迷惑にならない ようにする （よく確認すること）
10:30	フリー滑走終了 集合		開校式の隊列に整列 （レンタル返却方法について） ※班ごとに、スキー板・ストック・スノーボード板をゲレンデで返却 ※ブーツ・小物3点セット・ヘルメットはアリーナで返却 ※ウェア上下は男女各荷物置場で返却	*ゼッケンは各自持帰り
11:15	昼食	◎	レンタル返却後、荷物置場で着替えをし、食事会場へ移動 3F「アラスカ」で昼食	
12:00	バス移動 バス内点呼完了	◎	昼食後、各荷物置場で大きな荷物を持ってバスへ乗車 バス内点呼 （必ず出発前にトイレに行くこと）	
12:15	ホテル発		点呼：担当の教員	
14:30	小樽駐車場着	◎	小樽班別研修開始、各班で行動すること 本部：カフェテリア	
16:30	バス乗車点呼完了 小樽発		★「北一硝子」近くの駐車場に集合する ※トイレを済ませてからバスに乗車すること ※時間厳守	
17:30	サッポロビール園着		食事会場：ポプラ館 ※指示に従い、速やかに着席する	
19:00	サッポロビール園発 ※時間差を付けて 出発		バス内にて ※備品点検用紙を配布 ※荷物整理の案内	
19:30	ホテル着		★一般の宿泊客もおられるので、くれぐれも騒がないようにする ★ホテル内が狭いので、行動に注意する ★部屋から出ずに、部屋で静かに過ごす	
21:50	部屋移動禁止		★エレベーター利用可能 ★室長は備品点検用紙を記入し、室長会議に持参する事	
22:00	室長会議		会場：札幌ビューホテル 地下B2宴会場『クレストホール』	
22:40	就寝準備			
22:50	就寝前点呼	◎	点呼：担当の教員	
23:00	消灯・就寝			

〈荷物移動（部屋）ならびにロッカールームの注意事項〉

- ◎荷物を指定の場所に全て移動すること（レッスン後の部屋移動は出来ません）。
- ◎荷物置場に用意されているスリッパに履き替えて、ロッカールームへ移動すること。
（普段靴は荷物置き場に一緒に置くこと）
- ◎ロッカールームはレッスン開始と同時に利用が出来なくなるため、フリー滑走に行く前に必ずロッカールームの中を空にすること。履いてきたスリッパはロッカールームにセットされている籠に返却すること。
- ◎レッスン後は籠からスリッパを受け取り、各荷物置場で着替えをすること。

〈小樽観光時の注意事項〉

- ◎本部は「北一硝子3号館」に設置しているので、緊急時には速やかに報告に来ること。
- ◎一般の観光客も大勢おられるので、迷惑をかけることがないように言動に注意すること。
- ◎出発前にはトイレを済ましておくこと。
- ◎ガラスなど、陳列商品にカバンなどを引っかけないように注意すること。

〈サッポロビール園での注意事項〉

- ◎一般の方も大勢おられるため、騒いだり、立ち歩いて遊んだりしない。
- ◎先生の指示に従い、到着順に速やかに着席していくこと。
- ◎出発の際には、指示に従い速やかに行動し、バスに乗ること。

〈ホテルでの注意事項〉

- ◎サッポロビール園からホテルに到着した際、バスは路上に止まるので、担当の先生の合図が出たら、すぐ行動し、速やかにチェックインして部屋に入る。
- ◎一般の人の邪魔にならないよう、集まらずに速やかに行動する。
- ◎一般の方が同じフロアに宿泊されているので、絶対に迷惑をかけないようにすること。
- ◎寝る前までには必ずスーツケースの整理をすること。
- ◎翌日の朝食後にスーツケースを持って指定の場所に移動し、クラス毎にスーツケースを並べること。

5日目：2月23日（金）

時間	時間	行程	点呼	内容	備考
7:00		起床 健康観察報告	◎	全員：部屋の清掃・整理整頓 室長：部屋の清掃・整理整頓確認 ①体調不良者がいれば報告に同伴 ②担当の教員に健康観察報告	
札幌ビューホテル大通公園 1～5組					
7:30 7:40 7:50		朝食(1・3・4組) 朝食(2・5・6組) 朝食(7～11組)		地下B2宴会場『ピアリッジホール』で朝食 室長は食事会場前でルームキーを返却 地下B2宴会場『ピアリッジホール』にスーツケースを持ってくること。スーツケースはクラス毎に並べて保管 荷物移動	
9:30		部屋の点検 荷物の移動			
		ホテル発		点呼：担当の教員 点呼完了した班から出発 航空機の班毎に集合時間が違うので注意すること 班別自主研修・各自昼食 本部：テレビ塔下 ☆トイレ休憩なしの為、必ず済ませてから集合すること	
D班 13:00	E班 14:00	テレビ塔下に集合 バス乗車 点呼完了 札幌発	◎	点呼：担当の教員	D班＝ 1・3・4・5・6組 E班＝ 2・7・8・9・10・11組
13:10	14:10			<p>≪千歳空港到着前の諸注意≫</p> <p>①航空券を配布するので各自保管し無くさないように ②到着後、荷物を持って、チェックインカウンターに移動 ③機内持ち込み出来る荷物1個まで ④金属類、ペットボトル等の取り扱い（往路と一緒に）車内ゴミの回収 忘れ物がないか点検</p> <p>・ J T B 添乗員の誘導で空港内通路の集合場所に移動</p>	
14:10	15:10	新千歳空港着 航空券配布 荷物預け	◎	<p>・ 航空券配布 ・ 航空券を手を持ち、順にチェックインカウンターに移動し、荷物を預ける ・ 再集合の後、時間があれば、買い物時間を取る</p>	
15:20	16:20	再集合 手荷物検査		<p>点呼：担当の教員 点呼完了後、手荷物検査へ移動 手荷物検査を受け、搭乗ゲートへ移動 乗車したバスごとにゲート前で待機（トイレ可） ・ 搭乗ゲート前での買い物は禁止</p>	
15:50	15:40	搭乗前点呼		点呼：担当の教員 後方座席のクラスより搭乗 ANA778/ANA780	
16:15	17:55	新千歳空港発		機中での食事可	
18:15	19:55	空港着	◎	ターンテーブルで荷物受取	
18:50	20:30	空港発	◎	空港でトイレ休憩 バス乗車	
19:40	21:20	湊川神社着 解散			

★預け荷物のクレームタグは JTB 一括管理

ホテル内の注意

- ①入館の際には、ホテル関係者やスキースクール関係者に挨拶をする。
- ②持ち物は常に整理整頓を心がけ、ゴミは所定の場所に捨てる。
- ③先生の部屋・非常口・消防器具などは全員で確認しておく。
- ④**到着時、室長は備品点検用紙に記入をし、第1日目夕食時に教員に提出する。**
- ⑤ホテルの建物・寝具・器物・備品等は大切に扱う。
- ⑥エレベーターは使用しない。(ルスツのみ)
- ⑦**大浴場、プールの使用は禁止。**
- ⑧ホテル関係者や他の宿泊者に迷惑になるような事はしない。
- ⑨**ホテルからの外出は一切禁止する。**
- ⑩点呼は、行程に示されている時刻に行く(室長→担当の先生→ツアーデスク)。
- ⑪消灯後は部屋から出歩かない。
- ⑫消灯の時間になれば、すみやかに就寝する(完全消灯)。
夜間暖房の調節をし、体調を崩さないようにする。
- ⑬起床はすみやかに行き、洗顔・清掃に取り組む。
- ⑭その他
 - ※部屋の電話は使用しない。
 - ※客室内、館内施設の破損については、全額弁償しなければならない。**
 - ※ホテル内では、学校の体操服下を着用する。**
 - ※冷蔵庫は空の状態となっているので自由に使用してよい。
 - ※ヘアドライヤーは各部屋に完備されている。
 - ※バスタオル・フェイスタオル・石鹸・シャンプー・リンスは用意してある。

室長の仕事

- A. 全員の点呼と掌握(連絡事項の徹底)。
- B. 非常口と避難ルートを確認し、室員全員にも確認させる。
- C. 室内は常に整理整頓に努め、室員にも指示をする。
- D. 室員の健康状態に注意し、体調の悪い者がいれば先生にすみやかに連絡する。
- E. 消灯の時間には、すみやかに灯を消して寝るように指示する。
- F. 常に連帯責任であることを室員に認識させ、禁止事項を徹底しておく。

携行品チェックリスト

携行品は、いろいろな場面を想定して考え、忘れ物がないように気をつけること。

行程表を参考にして、必要なものをそろえる。荷物は大きなカバンと手荷物に分けて準備すること。

また、帰りは小樽散策が入るので、手荷物の中身も当然違ってきます。

修学旅行の心得を良く読み、不必要なものを持って行かないこと。

自分で気がついたものを書き込んで、チェックリストを完成させて下さい。

	ケ ス ー ツ	手 荷 物	確 認 欄		ケ ス ー ツ	手 荷 物	確 認 欄
生徒手帳（生徒証）	×	○		手荷物用カバン			
修学旅行のしおり				カメラ			
体操服・ジャージ				雨具 (折り畳み傘、簡易カッパ)			
筆記用具 (カッター・ハサミ類除く)							
着替え・下着類 (4泊5日分)							
洗面用具 (歯磨きセット)							
ティッシュ・ハンカチ							
タオル類 数枚							
ビニール袋 (大1~2枚、小3~5枚)							
就寝時の服 (ジャージ・パジャマ等)							
常備薬 (少し多めに)							
カイロ類・防水スプレー							
現金 (昼食代を含む)							
アンダーウェア・タイツ 実習用靴下							
マスク							

最後の荷物の整理にも、忘れ物チェックリストとして利用して下さい。

MEMO

A memo template consisting of a gray rectangular border. Inside the border, there are 20 horizontal dashed lines spaced evenly down the page, providing a guide for writing text.

★自分が乗るバスや宿泊する部屋、実習班などを確認しよう。

ルスツリゾートの部屋番号	
スキーまたはスノーボード実習班	班
札幌ビューホテルの部屋番号	

MEMO

A large rectangular area with a gray border, containing ten horizontal dashed lines for writing notes.